

平成22年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分

ア 再評価時に附帯意見が付された箇所
イ 次のいずれかに該当する箇所
再評価を実施した箇所
計画と実績の差が大
その他の理由

選定候補

各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要						再評価実施年度	附帯意見内容等	その他
						着手年度	完了年度		全体事業費(百万円)		事業量(単位) (最終実績)			
							計画	実績	計画	実績				
1	林政課	県営予防治山事業	東碓ヶ関山	平川市	山腹崩壊地の拡大崩壊及び土砂流出を防止するため、治山ダム及び山腹工による復旧整備を行う。	H19	H20	H22	50	148	谷止工N=1個 山腹工A=0.80ha 森林整備A=3.06ha	-		
2	林政課	奥地保安林保全緊急対策事業	雨池	新郷村	森林の過密化や風害等による荒廃森林において、簡易な工法等による治山施設の整備と針広混交林等への再生のための森林整備を一体的に実施する。	H19	H23	H22	300	286	谷止工3個、床固工2個、 山腹工A=0.24ha、 複層林誘導A=171.44ha、 複層林造成A=33.86	-		
3	林政課	奥地保安林保全緊急対策事業	上指久保	十和田市	奥地水源地域の荒廃地や荒廃森林の整備を行い、流域全体にわたる水源かん養機能及び土砂流出防止機能の高度発揮を図る。	H19	H22	H22	187	187	木製谷止工N=4個、植栽工 A=8.15ha、本数調整伐 A=100.29ha、林内整備 A=6.66ha、つる切りA=81.75ha、 枝落としA=11.59ha、下刈り A=89.88ha	-		
4	林政課	水源の里保全緊急整備事業	野里	五所川原市	公益的機能(水源のかん養、土砂流出防止等)を高度に発揮するため、荒廃地、荒廃森林等で治山施設の整備及び森林整備を実施する。	H21	H21 H22	H22	90 83	84	森林整備A=40.12ha 下刈りA=4.65ha 作業道L=1447.0m 谷止工N=1基	-		
5	林政課	森林居住環境整備事業	第2袴腰山	中泊町	森林の有する諸機能を総合的かつ高度に発揮させるための基幹的な連絡道路として、森林基幹道を開設する。	H15	H23	H22	964	897	基幹道開設 L=6283m	-		
6	農村整備課	基幹水利施設補修事業(ストマネ)	第3西津軽	つがる市、五所川原市、鶴田町	老朽化や破損の著しい基幹的施設の補修・改修工を実施し、施設の機能維持と安全を確保し、農業経営の安定を図る。	H15	H20	H22	1,100	1,193	用水施設 N=1式 排水施設 N=1式	-		
7	農村整備課	畑地帯総合整備事業	下湯口	弘前市	本地域のりんごの防除施設が老朽化し更新時期であること及び幅員の狭小な農道の整備を行い高品質、高収量の生産体系の確立を図る。	H17	H22	H22	1,580	1,410	農道 L=12,657m 畑かん施設 N=1式	-		
8	農村整備課	一般農道整備事業	下福原	つがる市	本農道を整備することにより、地域農業の振興を図るとともに、流通機能の合理化と農村環境の改善を図る。	H19	H22	H22	275	304	道路工L=2,352m	-		
9	農村整備課	一般農道整備事業	豊栄平	横浜町	本農道を整備することにより、地域農業の振興を図るとともに、流通機能の合理化と農村環境の改善を図る。	H18	H22	H22	436	397	道路工L=2,728m	-		
10	農村整備課	基幹農道整備事業	五林	藤崎町	路面改良を行うことで、路面の劣化・損傷を事前に防止、または抑制し、農道本来の機能を回復・保全するものである。	H21	H22	H22	68	67	舗装工L=1,195m	-		

平成22年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分

ア 再評価時に附帯意見が付された箇所
 イ 次のいずれかに該当する箇所
 再評価を実施した箇所
 計画と実績の差が大
 その他の理由

選定候補

各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	完了年度		全体事業費(百万円)				事業量(単位) (最終実績)	
							計画	実績	計画					実績
11	農村整備課	基幹農道整備事業	田茂木	平内町	降雨等により、道路本体の崩壊が予想されることから擁壁の復旧を速やかに行い、また法面も保護して農道本来の機能を回復・保全する。	H21	H22	H22	38	37	擁壁工N=1式	-		
12	農村整備課	広域農道整備事業	南津軽	藤崎町	路面改良を行うことで、路面の劣化・損傷を事前に防止、または抑制し、農道本来の機能を回復・保全するものである。	H21	H21	H22	70 101	100	舗装工L=1,580m	-		
13	農村整備課	広域農道整備事業	五所川原	五所川原市	本道路の舗装補修及び防雪柵の設置により、経年走行による路面損傷及び冬期間の地吹雪発生に伴う視程障害の緩和を図るものである。	H20	H22	H22	283	264	舗装補修工 L = 3,238m 防雪柵工 L = 139m	-		
14	農村整備課	ふるさと水と土ふれあい事業	下北北部二期	風間浦村	健全な中山間地域の発展を目指すため、優良農地を確保し、定住の促進、野生生物との共存を目的に、鳥獣害防止施設を整備する。	H19	H22	H22	77	77	鳥獣害防止柵 L=4,324 m	-		
15	農村整備課	農村振興総合整備事業	鶴田西部	鶴田町	農業用排水施設や農道の生産基盤、集落道や集落防災安全施設の生活基盤などを総合的に整備し、地域の農業振興や生活環境の向上を図る。	H16	H21	H22	1,250 997	1,034	農用排 L=1,901m 農道 L=3,403m 集道 L=570m 集落防災 L=1,680m ほか	-		
16	農村整備課	ため池等整備事業(一般型)	二ノ沢	五所川原市	堤体からの漏水や洪水吐の能力不足等で決壊が懸念されるため池を早急に補修・改修することにより、ため池下流の農地、集落、公共施設等の被害を未然に防止する。	H18	H22	H22	700	659	受益面積 A= 101.3ha ため池工 N= 1 式	-		
17	農村整備課	ため池等整備事業(一般型)	後山	弘前市	取水施設の老朽化、洪水吐の能力不足等で決壊が懸念されるため池を早急に補修・改修することにより、ため池下流の農地、集落、公共施設等の被害を未然に防止する。	H20	H23	H22	168	172	受益面積 A= 46.8ha ため池工 N= 1 式	-		
18	農村整備課	防災ダム事業	五戸川3期	新郷村	二ノ倉ダム及び又木戸ダムにおいて、老朽化していたダム本体及び観測機器や警報設備を改修し下流域の危険防止を図る。	H13	H17	H22	1,000	683	受益面積 A= 388ha ダム管理設備工 N= 1 式	H18	なし	
19	漁港漁場整備課	海岸保全施設整備事業	平館	外ヶ浜町	侵食、老朽化により低下した海岸保全施設の機能を回復し、飛沫減衰効果に伴う住民の不安解消により漁業集落環境の向上を図る。	H18	H22	H22	1,300	961	[平館漁港] 護岸(階段式) 774.8m 護岸(傾斜式) 30.0m 防潮林2,093.3m2	-		

平成22年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分

ア 再評価時に附帯意見が付された箇所
イ 次のいずれかに該当する箇所
再評価を実施した箇所
計画と実績の差が大
その他の理由

選定候補

各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	完了年度		全体事業費(百万円)				事業量(単位) (最終実績)	
							計画	実績	計画					実績
20	漁港漁場整備課	港整備交付金事業	野牛	東通村	地元の利用が主体となっている地方港湾と第1種漁港において、地域レベルで共通する課題である安全・安心な港づくりを目指す。	H17	H21	H22	600	695	-			
21	漁港漁場整備課	漁村再生交付金事業	小舟渡	階上町	越波防止及び港内静穏度を改善し、既存の係船岸、泊地及び用地が有効に活用されるとともに、他港に避難する必要の無い安全で働きやすい労働環境を構築する。	H19	H21 H21	H22	299 299	299	-			
22	漁港漁場整備課	漁村再生交付金事業	龍飛	外ヶ浜町	係留施設が不足していることにより陸揚げ作業時間が制限されているため、既設防波堤を係船岸に改良し効率的な水産物供給体制の整備を図る。	H20	H21	H22	130	106	-			
23	漁港漁場整備課	漁村再生交付金事業	奥内	青森市	外郭施設の改良・新設及び泊地の新設により港内静穏度及び安定的な泊地水深を確保し、陸揚作業の効率化と安全性の向上を図る。	H20	H22	H22	299	206	-			
24	漁港漁場整備課	広域漁場整備事業	三厩	外ヶ浜町	漁港から比較的近接した海域に魚礁を整備することによって、地先、回遊資源を効率的に増集させ、漁業生産性の向上を図る。	H13	H22 H22 H22	H22	1760 1178 1083	1,071	H17	なし		
25	漁港漁場整備課	広域漁場整備事業	大畑	むつ市	魚礁の整備によって、回遊性魚類の滞留、増集機能の向上による多種魚類の生息場を確保し、漁獲の安定を図る。	H20	H25	H22	550	449	-			
26	道路課	道路改築	国道340号(泥障作期バイパス)	八戸市	幅員狭小(W=4.5m)、線形不良(R=60m)及び急勾配(I=10%)の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的として整備するバイパスである。	H14	H22	H22	1,450	1,346	-			

平成22年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分

ア 再評価時に附帯意見が付された箇所
 イ 次のいずれかに該当する箇所
 再評価を実施した箇所
 計画と実績の差が大
 その他の理由

選定候補

各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要					再評価実施年度	附帯意見内容等	その他	
						着手年度	完了年度		全体事業費(百万円)					事業量(単位) (最終実績)
							計画	実績	計画	実績				
27	道路課	道路改築	松野木姥 菟線(福岡)	五所川原市	現道部は人家連担部であり幅員狭小(W=3.5m、歩道なし)、急カーブ(R=18m)であることから、バイパス整備により沿線住民の安全性の向上を図る。	H11	H22	H22	450	454	計画延長L=1,200m 計画幅員W=6.0(9.0)m	H20	なし	
28	道路課	道路改築	大鱈浪岡 線(石川大橋)	弘前市~ 平川市	当該箇所の整備により、弘前市と平川市の連絡を強化するとともに、広域的な環状道路が形成されることにより、津軽地域生活圏内の連携強化を図る。	H15	H22	H22	1,200	1,400	計画延長L=694m (橋梁部L=203m) 計画幅員W=6.5(13.0)m	-		
29	河川砂防課	河川改良事業	相米川	田子町	河道断面が狭小で流下能力不足のため、浸水被害が頻発していることから、築堤等の整備を実施し、治水安全度の向上を図る。	H2	H20	H22	800	707	築堤工L=820m、護岸工L=130m	H19	なし	
30	河川砂防課	河川改良事業	熊原川	三戸町	河道断面が狭小で流下能力不足のため、浸水被害が頻発していることから、築堤等の整備を実施し、治水安全度の向上を図る。	H12	H18	H22	200	240	堤防嵩上げ工L=940m 護岸工L=460m	-		
31	河川砂防課	河川改良事業	前菟川	弘前市	河道断面が狭小で流下能力不足のため、浸水被害が頻発していることから、築堤等の整備を実施し、治水安全度の向上を図る。	H15	H24	H22	238	209	掘削工L=1,800m	-		
32	河川砂防課	通常砂防事業	脇の沢	鱒ヶ沢町	土砂流等の土砂災害から下流部に存在する人家、公共施設等を守るため、砂防えん堤等の砂防設備の整備を行い、民政安定と国土の保全を図る。	H17	H23	H22	445	481	えん堤N=2基	-		
33	河川砂防課	通常砂防事業	屏風立沢	鱒ヶ沢町	土砂流等の土砂災害から下流部に存在する人家、公共施設等を守るため、砂防えん堤等の砂防設備の整備を行い、民政安定と国土の保全を図る。	H20	H24	H22	257	138	えん堤N=1基	-		
34	河川砂防課	火山砂防事業	西森合沢	黒石市	土砂流等の土砂災害から下流部に存在する人家、公共施設等を守るため、砂防えん堤等の砂防設備の整備を行い、民政安定と国土の保全を図る。	H19	H22	H22	300	222	えん堤N=1基	-		
35	河川砂防課	通常砂防事業(総流防)	南又沢	今別町	土砂流等の土砂災害から下流部に存在する人家、公共施設等を守るため、砂防えん堤等の砂防設備の整備を行い、民政安定と国土の保全を図る。	H19	H22	H22	141	159	えん堤N=1基	-		

平成22年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分

ア 再評価時に附帯意見が付された箇所
イ 次のいずれかに該当する箇所
再評価を実施した箇所
計画と実績の差が大きい
その他の理由

選定候補

各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	完了年度		全体事業費(百万円)				事業量(単位) (最終実績)	
							計画	実績	計画					実績
36	河川砂防課	通常砂防事業(総流防)	北六ヶ所沢	六ヶ所村	土砂流等の土砂災害から下流部に存在する人家、公共施設等を守るため、砂防えん堤等の砂防設備の整備を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H18	H22	H22	240	198	えん堤N=1基	-		
37	河川砂防課	高潮対策事業	横道海岸	おいらせ町	堤防、ハットランドの整備により海浜の安定化を図り、また、堤防の耐震・津波対策を行う。	S48	H16 H18 H23	H22	4,600 5,551 7,575	7,105	堤防工L=1,673m ハットランドN=3基 堤防耐震対策・嵩上げ L=2,400m	H10 H15 H20	なし	
38	河川砂防課	急傾斜地崩壊対策事業	浅所	平内町	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H10	H22	H22	913	901	連続繊維補強土工 A=17,300m ² 現場打吹付法砕工 A= 6,180m ² プレキャスト法砕工	H19	なし	
39	河川砂防課	急傾斜地崩壊対策事業	平岡1号	青森市	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H18	H23	H22	490	440	現場打吹付法砕工 L=264.0m	-		
40	河川砂防課	急傾斜地対策事業	家ノ前	七戸町	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H17	H22	H22	100	93	プレキャスト法砕工 外 L=173.4m	-		
41	河川砂防課	急傾斜地対策事業	本町	三沢市	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H20	H22	H22	61	61	補強土植生法砕工 L=91.2m	-		
42	河川砂防課	急傾斜地対策事業	湯舟5号	鱒ヶ沢町	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H20	H25	H22	70	28	プレキャスト法砕工 L=56.7m	-		
43	河川砂防課	急傾斜地対策事業	田野沢6号	深浦町	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H20	H25	H22	65	30	現場打吹付法砕工 L=33.0m	-		
44	河川砂防課	急傾斜地対策事業	千刈田2号	おいらせ町	がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H20	H23	H22	100	55	現場打吹付法砕工 L=141.2m	-		

平成22年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分

- ア 再評価時に附帯意見が付された箇所
 イ 次のいずれかに該当する箇所
 ① 再評価を実施した箇所
 ② 計画と実績の差が大
 ③ その他の理由

選定候補

※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 【最終実績】	
							計画	実績	計画					実績
45	港湾空港課	青森港文化観光交流拠点のみならずオアシスづくり支援事業	本港地区	青森市	港内に点在する交流施設及び青森駅間の連携・回遊性を強化するため、護岸及び歩道の整備を行い、本港地区の一体的な導線を確保し、周辺地域の交流人口拡大を図るとともに、文化観光交流拠点として賑わい空間の創出を図り、住民・観光客が親しみやすいみなとづくりを促進する。	H19	H21 H23	H22	280 459 427	427	護岸、遊歩道L=266.5m	-		
46	港湾空港課	青森港改修(統合補助)事業 防波堤	野内地区	青森市	荒天時での港内の静穏度がやや低下していることから、平成13年度の港湾計画改訂において新たに位置付けられた施設である。地元の強い要望もあり、防波堤延伸整備を進め、港内の静穏度不足を解消し、施設被害防止及び地域住民の安全を図るものである。	H19	H22	H22	270	265	防波堤L=70m	-		
47	港湾空港課	青森港改修(統合補助)事業 緑地(油川(1))	油川地区	青森市	既存のふるさと海岸整備事業により整備された緩傾斜護岸と当該緑地を一体化することにより、より一層の親水空間の創出、地域住民・周辺就労者の憩い・休息の場として利用向上を図る。	H18	H22	H22	150	145	緑地A=8,000m ²	-		
48	港湾空港課	八戸港港湾環境整備事業 緑地(第2ふ頭)	河原木地区	八戸市	八戸港は工業地帯に特化してきているが、港湾利用者や一般市民が日常的に利用でき、海へのふれあいの場となる場所が少ないため、憩える快適な親水空間の創出により港湾環境の改善を図る。	H3	H17 H22	H22	3,130 3,470 2,997	2,997	緑地A=41,000m ²	H12 H17	なし	
49	港湾空港課	青森空港整備特別事業	青森空港	青森市	空港周辺の地形等に起因して発生する霧による視程不良によって、定期便に欠航・遅延等が発生することから、計器着陸装置の高カテゴリー化(I→III)によりその改善を図る。 平成18年度完了事業(記載漏れ)	H13	H18	H18	3,000	3,080	計器着陸装置高カテゴリー施設 N=1.0式	-		
50	都市計画課	街路事業(電線共同溝)	3・4・7号弘前宮地線	弘前市	電線の地中化、歩道の整備を行うことで、中心市街地の活性化に寄与する。	H18	H22	H22	468	483	施工延長L=355.0m,幅員15.0m	-		